

“芹沢光治良と軽井沢文学” 講演会

■日時 令和7年03月29日(土)
14:00~16:00 (受付13:30)

■会場 サロン・マグノリア (東中野)
(中野区東中野5-8-3)

■募集 40名 (予約制)

■参加費 1000円 (珈琲・茶菓子)

〈プログラム〉

・財団代表理事 挨拶 (14:00-14:15) 勝呂 奏

【一部】

- ・講演 芹沢光治良と軽井沢文学 (14:15-15:30)
- ・講演者 大藤 敏行

《休憩 (15分)》

【二部】

- ・参加者と交流

【閉会】 16:00



【お申込/お問い合わせ】

参加者40名の予約制となります。
お手数ですが、参加希望の方は**3月26日**までに、
下記のEメール又は、携帯電話(C,SMS)メール宛
【お名前・ご連絡先】をお送りください。
メールを確認次第、ご連絡いたします。

財団 事務局長 池田三省
携帯電話：080-5088-1660

Eメール：ikeda_sa2002@yahoo.co.jp



■講演者 紹介

○大藤敏行（おおとう としゆき）

1963年埼玉県生まれ。軽井沢高原文庫館長。筑波大卒。

開館記念堀辰雄展、室生犀星展、芥川龍之介展、有島武郎展、川端康成展、立原道造展、遠藤周作展、辻邦生展、谷川俊太郎展など、約百余りの文学展に携わり、軽井沢ゆかりの文学の世界を伝え続ける。

1996年、「生誕百年記念 芹沢光治良展 その愛とヒューマニズム」を担当。

著書『軽井沢と文学』『ふるさと文学さんぽ長野』など。

30年ほど前から一般対象の文学散歩も継続的に行っている。

深沢紅子野の花美術館館長。

○軽井沢高原文庫

・軽井沢（長野県軽井沢町）は、明治中期頃から高原の避暑地・別荘地として多くの文学者たちに愛され、同時に多くの文学作品の舞台となってきました。軽井沢高原文庫は、そうした豊かな文学世界を体験していただくために、1985年(昭和60年)に開設された民間の文学館です。2階展示室では、様々なテーマの企画展を年数回開催しています。

敷地内に堀辰雄1412番山荘、有島武郎別荘「浄月庵」、野上弥生子書斎を移築保存し、一般公開しています。また立原道造詩碑、中村真一郎文学碑が庭に建立されています。

辻邦生山荘は現地保存(旧軽井沢)。

定期刊行物「高原文庫」「軽井沢高原文庫通信」を刊行。



【軽井沢高原文庫】

